



# 大砂土中だより

はつ らつ  
澗 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.3 令和5年6月1日号

## 心のこもった作品

校長 上続 昌司

職員室前の廊下には、美術の時間等に作成した作品が数多く展示してあります。新聞紙を使って動物の形を作り、最後は和紙で整えている立体の作品は、一目見てすぐに何の動物なのか分かるものばかりで、今にも動き出しそうなほど迫力があります。透明のショーケースの中には、丸い平な木の板に彫刻を施した作品があります。動物や花等をデザインし、最後にはニスで仕上げ光沢を出して完成です。よく見ると細かな所にまで神経をとがらせ、繊細な表現ができています。完成度の高さに感心させられます。さらに壁には、水彩画を展示しています。見沼区周辺の風景を鉛筆と水彩絵の具で描いているのですが、どの作品も「あの場所だ」と一目で分かり、その時の天気や時間を感じさせてくれて心が和みます。また、果物を自分流にアレンジして描いている作品もあります。それぞれ独特のタッチで描かれていて、現実では見るできない世界が表現されています。全ての作品に作者の氏名と感想や工夫、苦勞した点など記してあり、どのような過程を経て出来上がっていったのかが分かり、さらにその作品の良さが伝わってきます。

このように、学校の中にはいろんな場所に生徒の作品を展示してあります。一人ひとりの想いが込められていて、得意な人ばかりではなく、少し苦手であっても自分のもっている力を精一杯表現していることに感動します。私は、そんな生徒の作品を観るのがとても楽しみで、掛け替えのない時間となっています。本校に来校されるお客様にも、時々紹介することがありますが、目を輝かせて作品を楽しんでくれます。「中学生でこんな素晴らしい絵を描けるんですね」「この作品は心がこもっていて涙が出そうです」「今度来る時も楽しみにしています」等々、それぞれに感想を話してくれます。私にとって、この時間も大変嬉しく貴重な時間であります。それから、5月12日にさいたま市教育委員会の方々に、本校の授業の様子を見ていただく機会があり、どの学年も、雰囲気の良いことを誉めていただきました。これは、この日だけではなく、普段の学校生活の中で積み重ねてきた表れだと思えます。

これからも、目の前にある課題に一生懸命に取り組み、来校される方々から、大砂土中学校に来ることを楽しみにしていただけるように頑張っていきたいと思います。